

研究に関する情報公開

福島県立医科大学会津医療センター整形外科・脊椎外科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2021年12月 福島県立医科大学会津医療センター整形外科・脊椎外科学講座
白土 修

【研究課題名】

頸椎変性疾患の術後成績および術後頸椎後弯変形発生と頸部周囲筋力の関連性に関する研究

【研究期間】

2021年12月～2022年11月

【研究の意義・目的】

頸椎症性脊髄症や頸椎後縦靭帯骨化症などの頸椎変性疾患は、加齢とともに増加傾向にあります。その症状は脊髄や神経の圧迫によって、手足のしびれや筋力低下を招き、歩行障害やバランス障害、さらに膀胱直腸障害による排尿・排便障害を呈するため、著しく日常生活動作やQOLに影響を及ぼします。

治療方法としては主に椎弓形成術といった手術療法が行われることが多く、術後成績に関与する因子は患者さんに術後より良い生活を行って頂くために、重要な検討課題となっています。なかでも椎弓形成術後の頸椎後弯変形は、患者さんの術後成績に関わるひとつとして知られています。椎弓形成術は頸椎の後方より手術を行うため、頸部周囲の筋力が術後頸椎後弯変形の要因として考えられていますが、実際に頸部周囲の筋力がどのように関与するかは不明です。

そのため、現在までに当院整形外科・脊椎外科にて頸椎変性疾患に対して手術を行った患者さんの術前、および術後の頸部周囲筋力が術後成績と術後頸椎後弯変形発生にどのように影響していたかを検討し、今後の術後リハビリテーションプログラムを立案するための一助とするために調査します。

【研究の対象となる方】

2015年4月～2020年3月に会津医療センター附属病院整形外科・脊椎外科で、頸椎変性疾患（診断名：頸椎症性脊髄症、頸椎後縦靭帯骨化症）で手術を受けた患者さんを対象とします。

【研究の方法】

以下の試料・情報を用いて研究を行います。

・試料、情報の種類について

上記対象者の電子カルテ内での基本的な情報（年齢、性別、身長、体重など）、医学的情報（入院となった主疾患、画像所見）、頸部周囲筋力、自己記入式アンケート（JOACMEQ）を調査します。

・試料、情報の利用方法について

電子カルテ内から取得した研究対象者の各情報を集積し、データベースを作成します。手術を行った頸椎変性疾患患者の術後成績および術後頸椎後弯変形の発生と、頸部周囲筋力を含む各データの関係性や影響を調査します。研究結果は、学会発表、論文発表などで公開しますが、研究対象者のプライバシーおよび個人情報は保護されます。

【研究組織】

研究責任者	会津医療センター 整形外科・脊椎外科学講座	白土 修
研究分担者	会津医療センター附属病院リハビリテーション科	佐藤 圭汰
	会津医療センター附属病院リハビリテーション科	遠藤 達矢
	会津医療センター附属病院リハビリテーション科	三浦 拓也
	会津医療センター 整形外科・脊椎外科学講座	富永 亮司
	会津医療センター 整形外科・脊椎外科学講座	岩淵 真澄

【他の機関等への試料等の提供について】

提供はありません。

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒969-3492 福島県会津若松市河東町谷沢字前田 21 番地 2
福島県立医科大学会津医療センター リハビリテーション科 担当 佐藤 圭汰
電話番号：0242-75-2100（電話交換室にてリハビリテーション科につながります）
FAX：0242-75-2568
E-mail:keita-s@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒969-3492 福島県会津若松市河東町谷沢字前田 21 番地 2
福島県立医科大学会津医療センター リハビリテーション科 担当 佐藤 圭汰
電話番号：0242-75-2100（電話交換室にてリハビリテーション科につながります）
FAX：0242-75-2568
E-mail:keita-s@fmu.ac.jp